



システム メッセージ ログिंगの設定

この章では、Cisco MDS 9000 ファミリー スイッチにシステム メッセージ ログिंगを設定する手順について説明します。具体的な内容は、次のとおりです。

- システム メッセージ ログिंगの概要 (p.36-2)
- システム メッセージ ログिंगの設定 (p.36-5)
- システム メッセージ ログング設定の配布 (p.36-9)
- システム メッセージ ログング情報の表示 (p.36-11)
- デフォルト設定値 (p.36-16)

システム メッセージ ログिंगの概要

システム メッセージ ログング ソフトウェアは、メッセージをログ ファイルに保存するか、または他の装置に転送します。この機能には、次のような利点があります。

- モニタおよびトラブルシューティングのためのログング情報を提供します。
- 取り込むログング情報タイプを選択できます。
- 取り込んだログング情報を転送する宛先サーバを選択できます。

デフォルトで、スイッチは、通常の（ただし重要な）システム メッセージをログ ファイルに記録し、システム コンソールに送信します。ファシリティ タイプ（表 36-1 を参照）および重大度（表 36-2 を参照）に基づいて、保存するシステム メッセージを指定できます。メッセージにはタイムスタンプが付加されるので、リアルタイムのデバッグおよび管理機能が強化されます。

記録されたシステム メッセージにアクセスするには、CLI（コマンドライン インターフェイス）を使用するか、または適切に設定されたシステム メッセージ ログング サーバにこれらのメッセージを保存します。スイッチ ソフトウェアはシステム メッセージを、4 MB まで保存できるように設定可能なファイルに保存します。離れた場所でシステム メッセージをモニタするには、スイッチに Telnet、SSH、またはコンソール ポートを使用してアクセスするか、またはシステム メッセージ ログング サーバのログを表示します。



(注)

スイッチを最初に初期化する場合は、初期化が完了するまでネットワーク接続が確立されません。したがって、メッセージは数秒の間、システム メッセージ ログング サーバに転送されません。

システムの再起動中は、ログ メッセージは保存されません。ただし、重大度が **critical** 以下（レベル 0、1、および 2）のログ メッセージは、100 個まで NVRAM（不揮発性 RAM）に保存されます。

表 36-1 に、システム メッセージ ログがサポートしているファシリティの例を示します。

表 36-1 内部ログング ファシリティ

ファシリティ キーワード	説明	標準であるか、または Cisco MDS 固有であるか
acl	ACL マネージャ	Cisco MDS 9000 ファミリー固有
all	すべてのファシリティ	Cisco MDS 9000 ファミリー固有
auth	認証システム	標準
authpriv	認証（プライベート）システム	標準
bootvar	Bootvar	Cisco MDS 9000 ファミリー固有
callhome	コール ホーム	Cisco MDS 9000 ファミリー固有
cron	cron またはファシリティ	標準
daemon	システム デーモン	標準
fcc	FCC	Cisco MDS 9000 ファミリー固有
fcdomain	fcdomain	Cisco MDS 9000 ファミリー固有
fens	ネーム サーバ	Cisco MDS 9000 ファミリー固有
fcs	FCS	Cisco MDS 9000 ファミリー固有
flogi	FLOGI	Cisco MDS 9000 ファミリー固有
fspf	FSPF	Cisco MDS 9000 ファミリー固有
ftp	FTP	標準

表 36-1 内部ログング ファシリティ (続き)

ファシリティ キーワード	説明	標準であるか、または Cisco MDS 固有であるか
ipconf	IP 設定	Cisco MDS 9000 ファミリー固有
ipfc	IPFC	Cisco MDS 9000 ファミリー固有
kernel	カーネル	標準
local0 to local7	ローカルに定義されたメッセージ	標準
lpr	ラインプリンタ システム	標準
mail	メール システム	標準
mcast	マルチキャスト	Cisco MDS 9000 ファミリー固有
module	スイッチング モジュール	Cisco MDS 9000 ファミリー固有
news	USENET ニュース	標準
ntp	NTP	Cisco MDS 9000 ファミリー固有
platform	プラットフォーム マネージャ	Cisco MDS 9000 ファミリー固有
port	ポート	Cisco MDS 9000 ファミリー固有
port-channel	ポート チャンネル	Cisco MDS 9000 ファミリー固有
qos	QoS (サービス品質)	Cisco MDS 9000 ファミリー固有
rdl	RDL	Cisco MDS 9000 ファミリー固有
rib	RIB	Cisco MDS 9000 ファミリー固有
rscn	RSCN	Cisco MDS 9000 ファミリー固有
securityd	セキュリティ	Cisco MDS 9000 ファミリー固有
syslog	内部システム メッセージ	標準
sysmgr	システム マネージャ	Cisco MDS 9000 ファミリー固有
tlport	TL ポート	Cisco MDS 9000 ファミリー固有
user	ユーザ プロセス	標準
uucp	UUCP (UNIX-to-UNIX Copy Program)	標準
vhbad	仮想ホスト ベース アダプタ デーモン	Cisco MDS 9000 ファミリー固有
vni	仮想ネットワーク インターフェイス	Cisco MDS 9000 ファミリー固有
vrrp_cfg	VRRP の設定	Cisco MDS 9000 ファミリー固有
vrrp_eng	VRRP エンジン	Cisco MDS 9000 ファミリー固有
vsan	VSAN システム メッセージ	Cisco MDS 9000 ファミリー固有
vshd	vshd	Cisco MDS 9000 ファミリー固有
wwn	WWN マネージャ	Cisco MDS 9000 ファミリー固有
xbar	Xbar システム メッセージ	Cisco MDS 9000 ファミリー固有
zone	ゾーン サーバ	Cisco MDS 9000 ファミリー固有

表 36-2 に、システム メッセージ ログがサポートしている重大度を示します。

表 36-2 エラー メッセージの重大度

レベル キーワード	レベル	説明	システム メッセージの定義
emergencies	0	システムは使用不能	LOG_EMERG
alerts	1	すぐに措置が必要	LOG_ALERT
critical	2	クリティカル状態	LOG_CRIT
errors	3	エラー状態	LOG_ERR
warnings	4	警告状態	LOG_WARNING
notifications	5	正常ではあるが注意を要する状況	LOG_NOTICE
informational	6	通知メッセージ	LOG_INFO
debugging	7	デバッグ メッセージ	LOG_DEBUG



(注)

エラー ログ メッセージ フォーマットの詳細については、『*Cisco MDS 9000 Family System Messages References*』を参照してください。

システム メッセージ ログिंगの設定



システム ログング メッセージはデフォルト（または設定済み）のログング ファシリティおよび重大度に基づいて、コンソールに送信されます。

メッセージ ログングの起動

コンソールへのログングをイネーブルにしたり、指定された Telnet または SSH セッションに対するログングをイネーブルにすることができます。

- コンソールセッションに対するログングをディセーブルまたはイネーブルにすると、その状態が以降のすべてのコンソールセッションに適用されます。セッションを終了して、新しいセッションに再度ログインしても、この状態は保持されます。
- Telnet または SSH セッションに対するログングをイネーブルまたはディセーブルにした場合、この状態は該当するセッションにのみ適用されます。セッションを終了して、新しいセッションに再度ログインしても、この状態は保持されません。

Telnet または SSH セッションに対するログング ステートをイネーブルまたはディセーブルにする手順は、次のとおりです。

	コマンド	目的
ステップ 1	switch# terminal monitor	Telnet または SSH セッションに対するログングをイネーブルにします。  (注) コンソール セッションは、デフォルトでイネーブルです。
ステップ 2	switch# terminal no monitor	Telnet または SSH セッションに対するログングをディセーブルにします。  (注) Telnet または SSH セッションは、デフォルトでディセーブルです。

コンソールの重大度

コンソールセッションに対するログングがイネーブル（デフォルト）の場合は、コンソールに表示されるメッセージの重大度を設定できます。コンソール ログングのデフォルトの重大度は 2 (critical) です。



ヒント

コンソールのポー レートが 9600（デフォルト）である場合は、現在の critical（デフォルト）ログング レベルが維持されます。コンソール ログング レベルを変更しようとする、常にエラーメッセージが生成されます。ログング レベルを大きくするには（critical より上）、コンソールのポー レートを 38400 に変更する必要があります（「[コンソール ポート設定値の設定](#)」[p.4-36] を参照）。

コンソール ログングの重大度を設定する手順は、次のとおりです。

	コマンド	目的
ステップ 1	switch# config t switch(config)#	コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	switch(config)# logging console 3	コンソール ログिंगをレベル 3 (error) に設定します。重大度が 3 以上のログング メッセージがコンソールに表示されます。
	switch(config)# logging console	コンソール ログिंगの重大度を出荷時の設定である 2 (critical) に戻します。重大度が 2 以上のログング メッセージがコンソールに表示されます。

モジュール ログिंग

デフォルトでは、すべてのモジュールでレベル 7 のログングがイネーブルです。指定したレベルのログングをモジュールごとにイネーブルまたはディセーブルにすることができます。

モジュール ログングの重大度を設定する手順は、次のとおりです。

	コマンド	目的
ステップ 1	switch# config t switch(config)#	コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	switch(config)# logging module 1	モジュール ログングをレベル 1 (alerts) に設定します。
	switch(config)# logging module	スイッチ内のすべてのモジュールのモジュール ログングを設定します。
	switch(config)# no logging module	モジュール ログングを出荷時の設定 (すべてのモジュールのログングが未設定) に戻します。

ファシリティの重大度

ファシリティ ログングの重大度を設定する手順は、次のとおりです。

	コマンド	目的
ステップ 1	switch# config t switch(config)#	コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	switch(config)# logging level kernel 4	カーネル ファシリティの Telnet または SSH ログングをレベル 4 (warning) に設定します。この場合、重大度レベルが 4 以上のログング メッセージが表示されます。

ログ ファイル

ログング メッセージはログ ファイルに保存できます。このファイルの名前を設定したり、必要に応じてファイル サイズを制限することができます。デフォルトのログ ファイル名は `messages` です。ファイル名には 80 文字まで使用できます。ファイル サイズの範囲は 4096 ~ 4194304 バイトです。

このファイルの名前を変更するには、`logging logfile` コマンドを使用します。

ログ メッセージをファイルに保存する手順は、次のとおりです。

	コマンド	目的
ステップ 1	switch# config t switch(config)#	コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	switch(config)# logging logfile ManagerLog 3 size 3000000	ManagerLog という名前のファイルに、重大度が 3 以上のエラーまたはイベントに関する長い情報を記録するように設定します。サイズを設定して、ファイル サイズを 3,000,000 バイトに制限します。

設定されたログ ファイルは、/var/log/external ディレクトリに保存されます。ログ ファイルの場所を変更できません。 **show logging logfile filename** および **clear logging logfile filename** コマンドを使用して、このファイルを表示および削除できます。 **dir** コマンドを使用しても、このファイルにはアクセスできません。

ログ ファイルを表示するには、**show logging logfile** コマンドを使用します。ログ ファイルを別の場所にコピーするには、別のコピー構文を使用する **copy log** コマンドを使用します（「[ファイルのコピー](#)」 [p.4-31] を参照）。

システム メッセージ ログング サーバ

最大 3 つのシステム メッセージ ログング サーバを設定できます。

ログ メッセージを UNIX システム メッセージ ログング サーバに送信するには、UNIX サーバ上でシステム メッセージ ログング デーモンを設定する必要があります。ルートとしてログインし、次のステップを実行します。

ステップ 1 /etc/syslog.conf ファイルに次の行を追加します。

```
local1.debug                /var/log/myfile.log
```



(注) **local1.debug** と **/var/log/myfile.log** の間に、タブ文字を 5 つ追加してください。詳細な例については、/etc/syslog.conf ファイルのエントリを参照してください。

メッセージは、指定されたファシリティ タイプと重大度に従って送信されます。 **local1** キーワードは、使用する UNIX ログング ファシリティを指定します。スイッチのメッセージがユーザ プロセスによって生成されます。 **debug** キーワードは、記録する状況の重大度を指定します。スイッチからのすべてのメッセージを受信するように、UNIX システムを設定することもできます。

ステップ 2 UNIX シェル プロンプトに次のコマンドを入力して、ログ ファイルを作成します。

```
$ touch /var/log/myfile.log
$ chmod 666 /var/log/myfile.log
```

ステップ 3 次のコマンドを入力して、システム メッセージ ログング デーモンが新しい変更を取得するようにします。

```
$ kill -HUP ~cat /etc/syslog.pid~
```

システム メッセージ ログイング サーバを設定する手順は、次のとおりです。

	コマンド	目的
ステップ 1	switch# config t switch#	コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	switch(config)# logging server 172.22.00.00	指定されたファシリティ タイプおよび重大度に従って、ホスト名または IP アドレス (172.22.00.00) で指定された複数のリモート サーバにログ メッセージを転送するように、スイッチを設定します。
	switch(config)# logging server 172.22.00.00 facility local1	指定されたファシリティ (local1) に従って、サーバ IP アドレス (172.22.00.00) にログ メッセージを転送するように、スイッチを設定します。デフォルトの発信ファシリティは local7 です。
	switch(config)# no logging server 172.11.00.00	指定されたサーバ (172.11.00.00) を削除し、出荷時の設定に戻します。

発信システム メッセージ ログイング サーバ ファシリティ

すべてのシステム メッセージには、ログイング ファシリティおよびレベルが設定されています。ログイング ファシリティは場所、レベルは対象とみなすことができます。

単一のシステム メッセージ ログイング デモン (syslogd) は、設定された **facility** オプションに基づいて情報を送信します。ファシリティが指定されていない場合は、local7 がデフォルトの発信ファシリティになります。

表 36-1 に内部ファシリティを、表 36-3 に発信ログイング ファシリティを示します。

表 36-3 発信ログイング ファシリティ

ファシリティ キーワード	説明	標準であるか、または Cisco MDS 固有であるか
auth	認証システム	標準
authpriv	認証 (プライベート) システム	標準
cron	cron またはファシリティ	標準
daemon	システム デモン	標準
ftp	FTP	標準
kernel	カーネル	標準
local0 to local7	ローカルに定義されたメッセージ	標準 (local7 がデフォルト)
lpr	ライン プリンタ システム	標準
mail	メール システム	標準
news	USENET ニュース	標準
syslog	内部システム メッセージ	標準
user	ユーザ プロセス	標準
uucp	UUCP (UNIX-to-UNIX Copy Program)	標準

システム メッセージ ログイング設定の配布

Cisco SAN-OS Release 2.0(1b) 以降では、ファブリック内のすべての Cisco MDS スイッチに対してファブリック配布をイネーブルにできます。システム メッセージ ログイングの設定を実行して、配布をイネーブルにすると、ファブリック内のすべてのスイッチにその設定が配布されます。

スイッチの配布をイネーブルにしたあとで最初の設定コマンドを入力すると、ファブリック全体のロックが自動的に有効になります。システム メッセージ ログイング サーバは、有効データベースと保留データベース モデルを使用し、使用中のコンフィギュレーションに基づいてコマンドを格納または実行します。設定を変更する場合、有効データベースは保留データベースの設定変更によって上書きされ、ファブリック内のすべてのスイッチが同じ設定を受け取ります。設定を変更したあとで、設定変更をコミットせずに中止して変更を廃棄することもできます。いずれの場合でも、ロックは解除されます。CFS アプリケーションの詳細については、第 9 章「CFS インフラストラクチャの使用」を参照してください。

システム メッセージ ログイング サーバ設定のファブリック配布をイネーブルにする手順は、次のとおりです。

	コマンド	目的
ステップ 1	switch# config t	コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	switch(config)# logging distribute	ファブリック内のすべてのスイッチに対するシステム メッセージ ログイング サーバ設定の配布をイネーブルにして、ファブリックのロックを有効にし、その後の設定変更をすべて保留データベースに格納します。
	switch(config)# no logging distribute	ファブリック内のすべてのスイッチに対するシステム メッセージ ログイング サーバ設定の配布をディセーブル (デフォルト) にします。

システム メッセージ ログイング サーバの設定変更をコミットする手順は、次のとおりです。

	コマンド	目的
ステップ 1	switch# config t	コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	switch(config)# logging commit	ファブリック内のすべてのスイッチに対して設定変更を配布し、ロックを解除し、保留データベースへの設定変更を使用して有効データベースを上書きします。

システム メッセージ ログイング サーバの設定変更を廃棄する手順は、次のとおりです。

	コマンド	目的
ステップ 1	switch# config t	コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	switch(config)# logging abort	保留データベースのシステム メッセージ ログイング サーバの設定変更を廃棄して、ファブリックのロックを解除します。

ファブリック ロックの無効化

ユーザがシステム メッセージ ログイングを設定して、変更のコミットや廃棄を行ってロックを解除するのを忘れていた場合、管理者はファブリック内の任意のスイッチからロックを解除できます。管理者がこの操作を行うと、ユーザによる保留データベースの変更は廃棄され、ファブリックのロックは解除されます。



ヒント

変更は `volatile` ディレクトリのみで使用でき、スイッチを再起動すると廃棄されます。

管理者権限を使用して、ロックされたシステム メッセージ ログイング セッションを解除するには、**clear logging session** コマンドを使用します。

```
switch# clear logging session
```

データベース結合に関する注意事項

詳細については、「[CFS 結合のサポート](#)」(p.9-7) を参照してください。

2 つのシステム メッセージ ログイング データベースを結合する場合は、次の注意事項に従ってください。

- 結合データベースが、ファブリック内の各スイッチの既存データベースおよび受信データベースを統合したものであることを確認します。
- 結合データベースに含まれるシステム メッセージ ログイング サーバが最大 3 つであることを確認します。



注意

結合データベースに 4 つ以上のサーバが含まれる場合、結合できません。

システム メッセージ ログング情報の表示

現在のシステム メッセージ ログング設定を表示するには、**show logging** コマンドを使用します (例 36-1 ~ 36-10 を参照してください)。

例 36-1 現在のシステム メッセージ ログングの表示

```
switch# show logging
Logging console:                enabled (Severity: critical)
Logging monitor:                enabled (Severity: debugging)
Logging linecard:              enabled (Severity: debugging)
Logging server:                 enabled
{172.20.102.34}
    server severity:            debugging
    server facility:            local7
{10.77.202.88}
    server severity:            debugging
    server facility:            local7
{10.77.202.149}
    server severity:            debugging
    server facility:            local7
Logging logfile:                enabled
Name - messages: Severity - debugging Size - 4194304
Facility      Default Severity      Current Session Severity
-----
kern          6                      6
user          3                      3
mail          3                      3
daemon       7                      7
auth          0                      7
syslog       3                      3
lpr           3                      3
news         3                      3
uucp         3                      3
cron         3                      3
authpriv     3                      7
ftp          3                      3
local0       3                      3
local1       3                      3
local2       3                      3
local3       3                      3
local4       3                      3
local5       3                      3
local6       3                      3
local7       3                      3
vsan         2                      2
fspf         3                      3
fcdomain     2                      2
module       5                      5
sysmgr       3                      3
zone         2                      2
vni          2                      2
ipconf       2                      2
ipfc         2                      2
xbar         3                      3
fcns         2                      2
fcs          2                      2
acl          2                      2
tlport       2                      2
port         5                      5
flogi        2                      2
port_channel 5                      5
wnn          3                      3
fcc          2                      2
qos          3                      3
vrrp_cfg     2                      2
ntp          2                      2
```

```

platform                5                5
vrrp_eng                2                2
callhome                2                2
mcast                   2                2
rdl                     2                2
rscn                    2                2
bootvar                 5                2
securityd               2                2
vhbad                   2                2
rib                     2                2
vshd                    5                5
0 (emergencies)         1 (alerts)       2 (critical)
3 (errors)              4 (warnings)     5 (notifications)
6 (information)         7 (debugging)

```

```

Feb 14 09:50:57 excal-113 %TTYD-6-TTYD_MISC: TTYD TTYD started
Feb 14 09:50:58 excal-113 %DAEMON-6-SYSTEM_MSG: precision = 8 usec
...

```

NVRAM に保存されたログメッセージを表示するには、**show logging nvram** コマンドを使用します。ただし、NVRAM に保存されるのは重大度レベルが **critical** 以下（レベル 0、1、および 2）のログメッセージのみです。

例 36-2 NVRAM ログの内容の表示

```

switch# show logging nvram
Jul 16 20:36:46 172.22.91.204 %KERN-2-SYSTEM_MSG: unable to alloc and fill in a
new mtsbuf (pid=2209, ret_val = -105)
Jul 16 20:36:46 172.22.91.204 %KERN-2-SYSTEM_MSG: unable to alloc and fill in a
new mtsbuf (pid=2199, ret_val = -105)
Jul 16 20:36:46 172.22.91.204 %KERN-2-SYSTEM_MSG: unable to alloc and fill in a
new mtsbuf (pid=2213, ret_val = -105)
Jul 16 20:36:46 172.22.91.204 %KERN-2-SYSTEM_MSG: unable to alloc and fill in a
new mtsbuf (pid=2213, ret_val = -105)
...

```

例 36-3 ログ ファイルの表示

```

switch# show logging logfile
Jul 16 21:06:50 %DAEMON-3-SYSTEM_MSG: Un-parsable frequency in /mnt/pss/ntp.drift
Jul 16 21:06:56 %DAEMON-3-SYSTEM_MSG: snmpd:snmp_open_debug_cfg: no snmp_saved_dbg_uri
;
Jul 16 21:06:58 172.22.91.204 %PORT-5-IF_UP: Interface mgmt0 is up
Jul 16 21:06:58 172.22.91.204 %MODULE-5-ACTIVE_SUP_OK: Supervisor 5 is active
...

```

例 36-4 コンソール ログ ステータスの表示

```

switch# show logging console
Logging console:                enabled (Severity: notifications)

```

例 36-5 ログング ファシリティの表示

```

switch# show logging level
Facility           Default Severity      Current Session Severity
-----
kern                6                      6
user                3                      3
mail                3                      3
daemon              7                      7
auth                0                      7
syslog              3                      3
lpr                 3                      3
news                3                      3
uucp                3                      3
cron                3                      3
authpriv            3                      7
ftp                 3                      3
local0               3                      3
local1               3                      3
local2               3                      3
local3               3                      3
local4               3                      3
local5               3                      3
local6               3                      3
local7               3                      3
vsan                 2                      2
fspf                 3                      3
fcdomain             2                      2
module               5                      5
sysmgr               3                      3
zone                 2                      2
vni                  2                      2
ipconf               2                      2
ipfc                 2                      2
xbar                 3                      3
fcns                 2                      2
fcs                  2                      2
acl                  2                      2
tlport              2                      2
port                 5                      5
flogi                2                      2
port_channel         5                      5
wnn                  3                      3
fcc                  2                      2
qos                  3                      3
vrrp_cfg             2                      2
ntp                  2                      2
platform             5                      5
vrrp_eng             2                      2
callhome             2                      2
mcast                2                      2
rdl                  2                      2
rscn                 2                      2
bootvar              5                      2
securityd            2                      2
vhbad                2                      2
rib                  2                      2
vshd                 5                      5
0 (emergencies)     1 (alerts)             2 (critical)
3 (errors)           4 (warnings)           5 (notifications)
6 (information)     7 (debugging)

```

例 36-6 ログイング情報の表示

```

switch# show logging info
Logging console:          enabled (Severity: critical)
Logging monitor:         enabled (Severity: debugging)
Logging linecard:        enabled (Severity: debugging)
Logging server:          enabled
{172.20.102.34}
    server severity:      debugging
    server facility:      local7
{10.77.202.88}
    server severity:      debugging
    server facility:      local7
{10.77.202.149}
    server severity:      debugging
    server facility:      local7
Logging logfile:         enabled
Name - messages: Severity - debugging Size - 4194304
Facility      Default Severity      Current Session Severity
-----
kern          6                      6
user          3                      3
mail          3                      3
daemon        7                      7
auth          0                      7
syslog        3                      3
lpr           3                      3
news          3                      3
uucp          3                      3
cron          3                      3
authpriv      3                      7
ftp           3                      3
local0        3                      3
local1        3                      3
local2        3                      3
local3        3                      3
local4        3                      3
local5        3                      3
local6        3                      3
local7        3                      3
vsan          2                      2
fspf          3                      3
fcdomain      2                      2
module        5                      5
sysmgr        3                      3
zone          2                      2
vni           2                      2
ipconf        2                      2
ipfc          2                      2
xbar          3                      3
fcns          2                      2
fcs           2                      2
acl           2                      2
tlport        2                      2
port          5                      5
flogi         2                      2
port_channel  5                      5
wnn           3                      3
fcc           2                      2
qos           3                      3
vrrp_cfg      2                      2
ntp           2                      2
platform      5                      5
vrrp_eng      2                      2
callhome      2                      2
mcast         2                      2
rdl           2                      2
rscn          2                      2
bootvar       5                      2

```

```
securityd          2          2
vhbad              2          2
rib                2          2
vshd               5          5
0 (emergencies)   1(alerts)  2(critical)
3 (errors)         4(warnings) 5(notifications)
6 (information)    7(debugging)
```

例 36-7 ログ ファイルの最後の数行の表示

```
switch# show logging last 2
Nov 8 16:48:04 excal-113 %LOG_VSHD-5-VSHD_SYSLOG_CONFIG_I: Configuring console from
pts/1 (171.71.58.56)
Nov 8 17:44:09 excal-113 %LOG_VSHD-5-VSHD_SYSLOG_CONFIG_I: Configuring console from
pts/0 (171.71.58.72)
```

例 36-8 スイッチング モジュール ログング ステータスの表示

```
switch# show logging module
Logging linecard:          enabled (Severity: debugging)
```

例 36-9 モニタ ログング ステータスの表示

```
switch# show logging monitor
Logging monitor:          enabled (Severity: information)
```

例 36-10 サーバ情報の表示

```
switch# show logging server
Logging server:          enabled
{172.22.95.167}
  server severity:      debugging
  server facility:      local7
{172.22.92.58}
  server severity:      debugging
  server facility:      local7
```

デフォルト設定値

表 36-4 に、システム メッセージ ログのデフォルト設定値を示します。

表 36-4 システム メッセージ ログのデフォルト設定値

パラメータ	デフォルト
コンソールへのシステム メッセージ ログ	重大度が <code>critical</code> のメッセージに対してイネーブル
Telnet セッションに対するシステム メッセージ ログ	ディセーブル
ログ ファイル サイズ	4194304
ログ ファイル名	message (200 文字までの名前に変更)
ログ サーバ	ディセーブル
Syslog サーバの IP アドレス	未設定
サーバ数	3 つ
サーバファシリティ	local 7